

千葉市立柏台小学校 校長 佐藤 典子

連休明けから新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変更となり、学校での活動は、本当に必要なものを精選し回復させていきます。改めて、活動の目的や内容等を見直し、より子どもたちのよさや可能性を伸ばしていけるように努めていきます。

さて、今週は陽気がよく、いろいろな学年の栽培活動が始まりました。

5年生は、バケツで稲を育てます。苗がしっかりと育つように、土(泥)づくりから始めました。恐る恐る泥に指を入れる子やダイナミックにこねる子、「やっぱり触れない」とシャベルで混ぜる子など、活動中にいろいろな気づきがありました。

栽培活動は、土づくりの段階から植物に思いを寄せ、対話をしながら世話をし、その生長を実感しながらかわることのできる活動です。花を咲かせ、実りの秋を迎え、次世代の種ができるという命のつながりを感じてほしいと願います。

その他、今月は子どもたちが楽しみにしているクラブ活動が始まります。日頃から子どもたちが安全で安心した学校生活を送ることができるよう、保護者の皆様、地域で見守ってくださる方々のご協力に感謝申し上げます。



「うわ、冷たい」「気持ちいい!」と話が弾みます。



たっぷり泥の入ったバケツは、日当たりの良い場所まで一輪車で運びます。